

Autonomous AP 上の SSID の設定例

TAC

Document ID: 116586

Updated: 2013 年 10 月 16 日

著者 : Cisco TAC エンジニア、Salma Sulthana

 [PDF のダウンロード](#)

 [印刷](#)

[フィードバック](#)

関連製品

- [Cisco Aironet 1700 シリーズ アクセス ポイント](#)

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[スイッチ側からの設定](#)

[方法 1 : GUI を使用した AP での SSID の設定](#)

[方法 2 : CLI を使用した AP での SSID の設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[Cisco サポート コミュニティ - 特集対話](#)

概要

この資料は単一 VLAN on Cisco 設定するためにプロセスを IOS で Service Set Identifier (SSID) を説明したものです^が。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

背景説明

SSID は、ワイヤレス ネットワーク デバイスでワイヤレス接続を確立して維持するために使用される固有識別情報です。AP 無線は無効で、デフォルトの SSID は割り当てられていません。これは、権限のないユーザが、デフォルトの SSID を使用してセキュリティを設定していないこのアクセス ポイントからお客様の無線ネットワークにアクセスするのを防ぐための措置です。アクセス ポイントの無線インターフェイスを有効にする前に、SSID を作成する必要があります。

ネットワークまたはサブネットワーク上の複数のアクセス ポイントは、同じ SSID を使用できます。SSID は大文字と小文字を区別する最大 32 文字の英数字です。SSID にスペースを含めることはできません。

最初の文字に以下の文字は指定できません。

- 感嘆符 (!)
- ポンド記号 (#)
- セミコロン (;)

次の文字も無効で SSID には使用できません。

- プラス記号 (+)
- 閉じ大カッコ (])
- スラッシュ (/)
- 引用符 (")
- Tab
- 末尾のスペース

Cisco Aironet アクセス ポイントには、最大 16 の SSID を設定でき、各 SSID に異なる設定を割り当てることができます。デュアル無線のワイヤレス デバイスでは、作成した SSID が両方の無線インターフェイスで有効になります。クライアント デバイスは、アクティブな SSID のいずれかを使用してアクセス ポイントに関連付けることができます。

設定

スイッチ側からの設定

```
en
conf t
int Gig 1/1
switchport mode trunk
switchport trunk encapsulation dot1q
switchport trunk native vlan 50
switchport trunk allowed vlan 1,50
```

方法 1： GUI を使用した AP での SSID の設定

1. SSID 用の VLAN を作成します。
2. SSID を作成し、VLAN を割り当てます。
3. SSID をブロードキャストします。

方法 2： CLI を使用した AP での SSID の設定

1. SSID を設定し、VLAN にマッピングします。 Enable

```
Conf ter
Dot11 ssid Cisco
Vlan 50
Authentication open
Guest-mode
End
```

2. DOT11 無線 0 とギガビット イーサネット インターフェイスを設定します。 >Conf t

```
interface Dot11Radio 0
ssid Cisco
Exit
```

```
Interface Dot11Radio 0.50
Encapsulation dot1Q 50 native
Bridge-group 1
Exit
```

```
Interface GigabitEthernet 0
Bridge-group 1
```

```
Interface GigabitEthernet 0.50
Encapsulation dot1Q 50 native
```

Bridge-group 1注： ネイティブ VLAN は、常にブリッジグループ 1 にマッピングする必要があります。 無線がどちらもアクティブである場合、無線 0 のように無線 1 を設定します。

確認

ここでは、設定が正常に動作していることを確認します。

- AP からスイッチの VLAN インターフェイスに ping を実行して、ping が成功する必要があります。
- AP で `show dot11 associations` コマンドを入力します。 SSID に関連付けられたクライアントを確認する必要があります。

```
ap# show dot11 associations
```

```
802.11 Client Stations on Dot11Radio0
```

SSID [Cisco] :
MAC Address IP address Device Name Parent State
0811.967e.c384 192.168.50.4 ccx-client ap self Assoc

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

このドキュメントは有用でしたか。 [はい いいえ](#)

フィードバックいただき、ありがとうございました。

[サポートケースのオープン](#) ([シスコ サービス契約 < ts generic='1' nval='P%1,2%'>が必要ですか](#))。

Cisco サポート コミュニティ - 特集対話

[Cisco サポート コミュニティ](#) では、フォーラムに参加して情報交換することができます。

このドキュメントで使用されている表記法の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

Updated: 2013 年 10 月 16 日

Document ID: 116586